

## 冬の血液不足を解消

### 地元高校生と赤十字奉仕団が献血を呼びかけ

去る1月30日、秩父ウニクスで献血者が減少する冬場の血液不足を解消しようと、着ぐるみを着て献血を呼びかけてくれたのは、県立秩父農工科学高校と県立小川高校の生徒さん。また、秩父市赤十字奉仕団からは、「けんちん汁」の炊き出しサービスがありました。献血が終わられた方からは「とても体が温まります。美味しいです。」と大変好評でした。

この日献血には107名もの方が駆けつけていただき、厳しい寒さのなかでしたが、心温まる一日となりました。



◆ けんけつちゃんと記念写真ハイポーズ



◆ 秩父市赤十字奉仕団によるけんちん汁の炊き出し

### 献血ゆる玉応援団による

## 「献血ありがとう」キャンペーン



◆ 左からガーヤちゃん・エビオ君・けんけつちゃん

このキャンペーンは、近年特に減少している10代20代の若年者層を対象に献血への理解と協力を呼びかけ、特に400mL献血の複数回献血の推進を図ることを目的に実施されました。

オープニングイベントとして、2月5日(土)越谷市のイオンレイクタウン「花の広場」では、3体の着ぐるみによるキャンペーンが行われ、県立越谷東高校・県立三郷高校・県立草加高校の生徒さんが献血を呼びかけました。

一番たくさんの子供たちに囲まれたのは、やはり地元キャラクターのガーヤちゃん。着ぐるみを着て汗だくで頑張ってくれた高校生のみなさん、ありがとうございました。

## 平成23年4月1日から献血の年齢条件などの採血基準が一部変更になりました。

### 変更内容

#### 1 献血へ協力いただける方の年齢の拡大

- (1) 男性に限り、400mL全血献血の可能な方の年齢下限が「18歳」から「17歳」になりました。
- (2) 男性に限り、血小板成分献血の可能な方の年齢上限が「54歳」から「69歳」になりました。

※65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限られます。

#### 2 血色素量(ヘモグロビン濃度)の最低値の引上げ

- (1) 男性に限り、200mL全血献血が可能となる血色素量が「12g/dL」から「12.5g/dL」になりました。
- (2) 男性に限り、400mL全血献血が可能となる血色素量が「12.5g/dL」から「13g/dL」になりました。

※血液検査(ヘモグロビン測定)の方法を「血色素量」に統一しました。

